



# 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

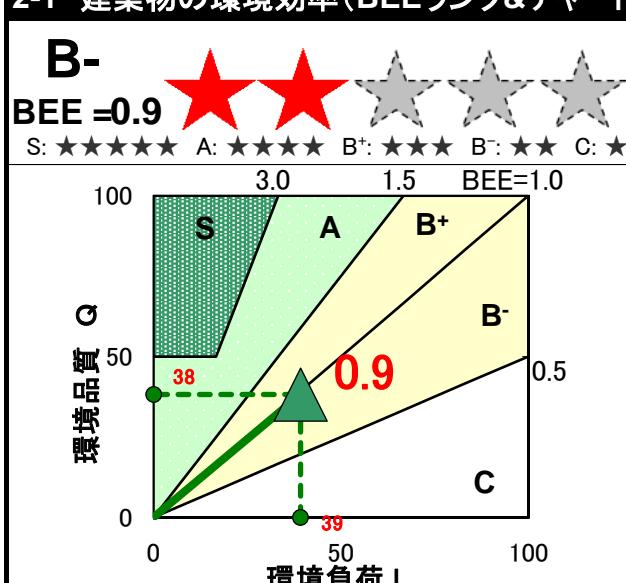
## 1-1 建物概要

建物名称	サントリー(株)大阪工場 新SL工房建設工事	
建設地	港区海岸通3丁目	
建築用途	工場	
建築主	サントリー(株)	
設計者	(株)安井建築設計事務所	
敷地面積	3,415.30	m <sup>2</sup>
建築面積	1,392.50	m <sup>2</sup>
延床面積	5,196.23	m <sup>2</sup>
構造/階数	S造	/ 地上6階
完了年(予定)	2024年11月	

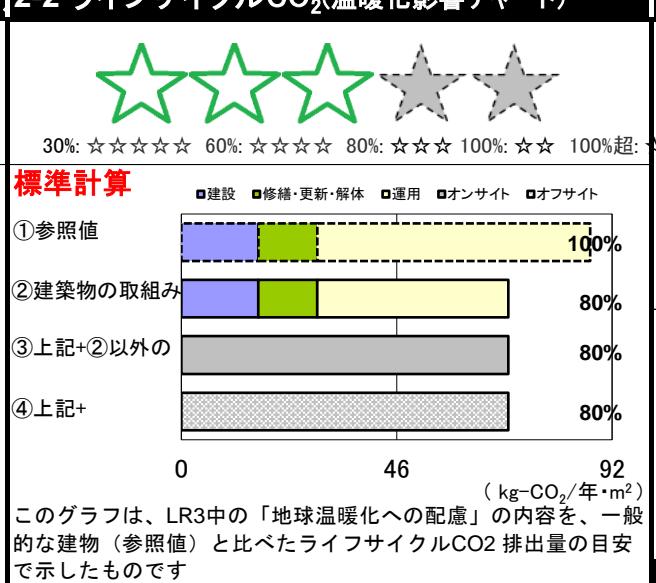
## 1-2 外観



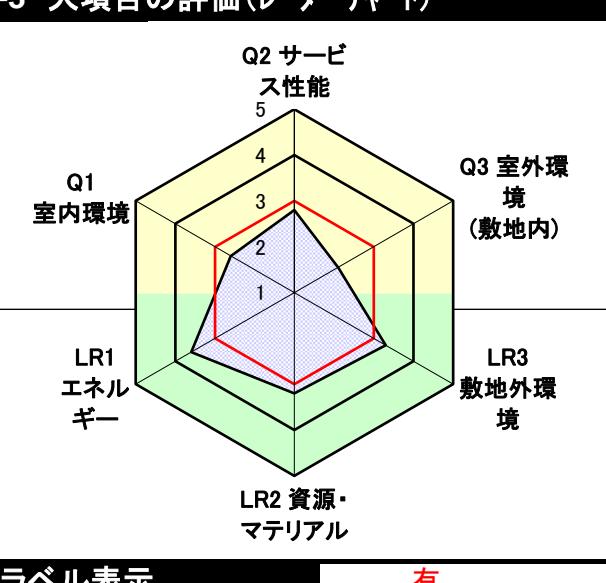
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



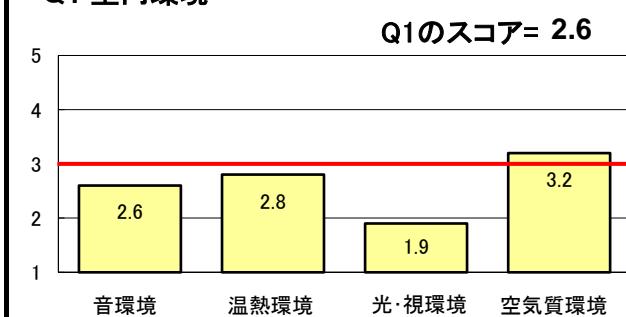
ラベル表示

有

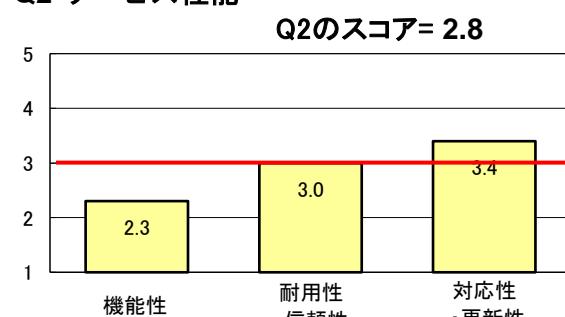
## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

### Q 環境品質

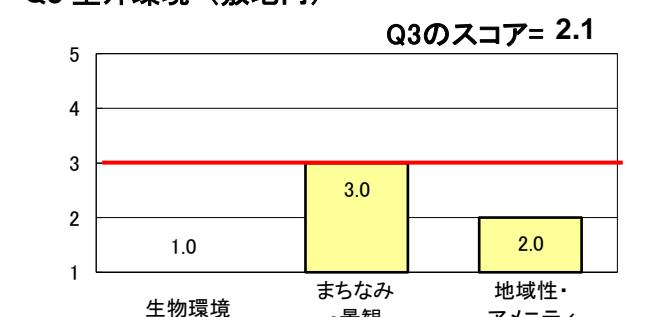
#### Q1 室内環境



#### Q2 サービス性能

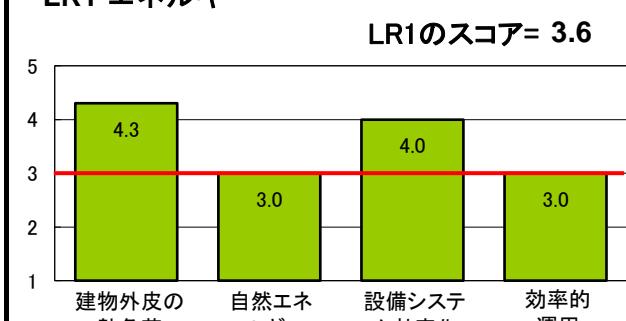


#### Q3 室外環境 (敷地内)

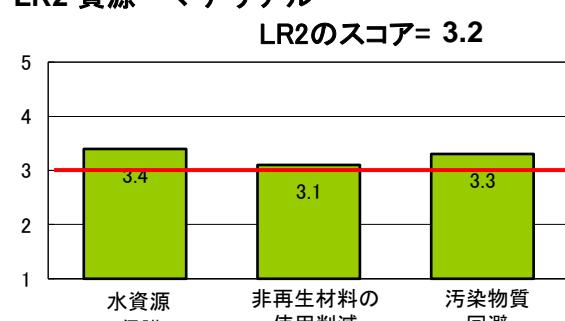


### LR 環境負荷低減性

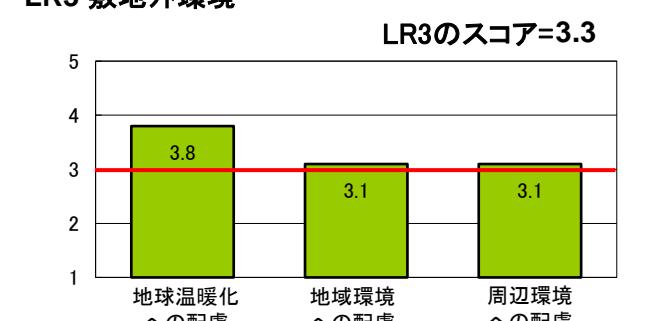
#### LR1 エネルギー



#### LR2 資源・マテリアル



#### LR3 敷地外環境



## 3 設計上の配慮事項

### 総合

省エネルギー性の高い外皮及び設備を搭載した建築物であるだけでなく、資源・マテリアル消費の低減や、敷地境界線を越えて地球環境に及ぼす影響を低減する取組みを行うことで、環境負荷低減性に優れた建築計画となるよう配慮した。

### その他

特になし

#### Q1 室内環境

省エネルギー性の高い外皮により、外界からの熱的侵入の抑制になっている。

#### Q2 サービス性能

空間にゆとりをもたせ、設備スペースにも配慮した設計により、対応性・更新性を確保した。

#### Q3 室外環境 (敷地内)

建築設備に伴う排熱等にも配慮することで、敷地内温熱環境を向上させた。

#### LR1 エネルギー

建築外皮の性能や、建築物の設備における省エネルギー対策について配慮することで、建築物を運用する際に発生するエネルギー消費を低減させた。

#### LR2 資源・マテリアル

LGS工法の採用により部材の再利用可能性向上への取組みを行った。

#### LR3 敷地外環境

燃焼機器不使用による大気汚染防止や、駐車スペース等の確保による交通処理負荷抑制を図ることで、地球環境へ配慮した。

# 建築物環境性能表示 結果 [重点評価]

総合評価BEE = 0.9

ラベル表示

大阪市建築物環境性能表示

総合評価 ★★☆☆☆



評価は、CASBEE大阪みらいを利用した建築主の自己評価結果です。竣工後3年間有効。  
「CASBEE 大阪みらい 新築」2018年版 受付番号 令和5年度 №111

環境性能	評価点	
(1)CO2削減	4.0	
CO2削減に配慮した環境性能		
LR3/ 1 / / 地球温暖化への配慮	3.8	ライフサイクルCO2排出率80%
配慮事項	ウレタンフォームを採用している。設備においても効率の良い機器を採用している。	

環境性能	評価点	
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0	
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	1.0	特になし
Q3 / 3 / 3.2/ 敷地内温熱環境の向上	2.0	空地率59.23%による風の通り道の確保
LR3/ 2 / 2.2/ 温熱環境悪化の改善	2.0	地域気象観測データでの把握
配慮事項	緑化採用	

環境性能	評価点	
(3)建物の断熱性	4.0	
CO2削減に配慮した環境性能		
LR1/ 1 / / 建物の熱負荷抑制	4.3	BPIm=0.87
配慮事項	ALCを採用している。	

環境性能	評価点	
(4)エネルギー削減	4.0	
CO2削減に配慮した環境性能		
LR1/ 3 / / 設備システムの高効率化	4.0	BEIm=0.70
配慮事項	設備効率の良い機器を採用している。	

## 省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること  
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)  
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級) -		非住宅部分[BPI][BPIm] 0.87
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm] 0.70	住宅部分[BEI] -	非住宅部分[BEI][BEIm] 0.70